

読むことの教材研究 NO2

【 物語文教材の系統表 】 中学年

珠洲市立飯田小学校

学年	3 年					4 年					
学期	1 学期		2 学期		3 学期	1 学期		2 学期		3 学期	
単元	音読しよう	読んで考えたことを発表しよう	物語の感想をまとめよう	民話や物語の組み立てを考えよう	物語を読んでしようかいしょ	音読劇をしよう	物語を読んでしようかいしょ	読んで考えたことを話し合おう	物語を読んで、感想文を書こう	作品のひみつをさぐろう	
教材名	「きつつきの商売」	「海をかっとばせ」	「ちいちゃんのかげおり」	「三年とうげ」	「モチモチの木」	「白いぼうし」	「一つの花」	「ごんぎつね」	「三つのお願い」	「初雪のふる日」	
ねらい	場面の様子やその違いに注意しながら音読を工夫し、発表することができる。	場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。	場面の移り変わりに注意しながら読み、人物の行動、情景、会話などの表現に着目して読むことができる。	場面がどのように組み立てられているのかを考え、登場人物の気持ちを推測しながら読むことができる。	場面の移り変わりや登場人物の人柄や気持ちの変化に注意しながら読むことができる。	場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。	場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。	登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。	登場人物の性格や気持ちの変化、情景などをについて、叙述をもとに想像して読むことができる。	場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化や情景を読み取ることができる。	
単元を貫く言語活動	「きつつきの商売」の音読劇をしよう	読んで考えたことを発表しよう	物語の感想を発表し合おう	「三年とうげ」の音読発表会をしよう	物語を読んで紹介し合おう	音読劇に表す	「平和」をテーマにした本を紹介し合う	読んで考えたことをまとめ、話し合う(「ごん日記」を書く)	読んで考えたことを感想文に書く	作品のひみつをもとに紹介文を書く	
5つの言語意識	相手	学級のみんなに	学級のみんなに	学級のみんなに	学級のみんなに	学級のみんなに	学級のみんなに	学級のみんなと	学級のみんなに	学級のみんなと	
	目的	場面の様子や登場人物の様子がわかるように	人物の会話や行動、気持ちがわかるように	場面のうつりかわりの様子や登場人物の様子がわかるように	場面の様子や登場人物の様子がわかるように	本を紹介するために	人物の気持ち性格を音読で伝えるために	自分の感じ方・考え方を伝えるために	感想を友だちと交流して読みを深めるために	自分のひみつをさぐるために	
	場面	音読劇発表会で	感想発表会で	感想発表会で	音読発表会で	物語発表会で	音読劇発表会で	単元末での感想交流の場で	単元末での感想交流の場で	単元末での紹介文交流の場で	
	方法	場面の様子を想像したり、読みとったことを生かして音読劇を行い	条件に合わせて文を書き、それを読み取って感想を述べ合い	場面の移り変わりをとらえた感想文を書いて	場面の様子を想像したり、読みとったことを生かして、他の作品と読み比べて、登場人物や場面の違いに気付き	表現の工夫に着目して情景を読むとともに、行動や会話から	教材文の他に「平和」をテーマにした本を読んで	きつねが登場する物語を読んで、「ごんぎつね」と比較して	「三つのお願い」を読んでの感想文を書き、感想を交流して	同じ作者の他の作品を読み、読んだ作品についての感想と、それが生まれた作品の秘密を考え	
	評価	場面の様子やその違いに注意しながら音読を工夫し、発表することができたか	条件に合わせて文を書いて発表しているか	場面の移り変わりをとらえて感想をまとめて発表しているか	登場人物の気持ちを推測しながら音読しているか	場面の様子や登場人物の様子がわかるように紹介しているか	人物の気持ち性格が表れるように読み方を考えて音読しているか	書き手の考え方や感想について意見を述べているか	友達の発表と自分の考え方を聞わせながら聞き、発言しているか	登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについての感想を伝えているか	登場人物の気持ちの変化や情景などの感想とその作品の秘密を書いているか
段落		意味段落2	意味段落5	意味段落5	意味段落5	意味段落5	意味段落4	意味段落3	意味段落6	意味段落5	意味段落8
文章構成		物語の設定、出来ごと①→出来ごと②	はじめ→中→終わり	はじめ→中→終わり	はじめ→出来ごとが起こる→出来事が変化する→結び(起承転結)	はじめ→中→終わり	4つの場面で構成されている	戦争中と「十年後」の戦争後の場面で構成されている	1~4段落は主人公のごんの視点から、5段落は兵十の視点から書かれている	「初め一中一終わり」の構成で書かれている	リズムや語感を生み出す表現が用いられている
学ばせたいこと	読むこと	○音読の工夫(繰り返しやリズム) ○場面の様子 場面の様子やその違いに注意しながら音読を工夫することができる	○文章を読んで感じたことを発表し合い、一人一人の感じ方にについて違いがあることに気づくことができる	○場面の移り変わりに注意し、それぞれの場面の様子を想像しながら読むことができる	○音読の工夫(繰り返しやリズム) ○場面の様子 場面がどのように組み立てられているのかを考え、登場人物の気持ちを推測しながら読むことができる	○会話や心情表現、行動を表す文などから人柄が分かることを知り、着目して読むことができる	○場面ごとの人物の様子	○物語の組み立てや表現のどくちょう ○物語の設定	○人物の性格や気持ちの変化、情景 ○会話文や行為から分かる人物の気持ち	○場面の様子を表す言葉や表現	
	用語	登場人物、場面	筆者	場面の移り変わり	民話	会話文・地の文、語り手	強弱、速さ、声の調子、間	しょうかい、とくべつな言葉、気持ちの変化	登場人物の行動、気持ちの変化	感想文、時・場所、登場人物、出来事、結末、書く手順、初め一中一終わり	情景 登場人物
関連教材		「ふきのとう」2年上 「白いぼうし」4年上	「スイマー」2年上 「わたしはおねえさん」2年下	「スイマー」2年上 「わたしはおねえさん」2年下 「ごんぎつね」4年下 「三つのお願い」4年下	「お話のさくしやになろう」2年下 「三つの花」4年下	「スーホーの白い馬」2年下 「一つの花」4年下	「きつつきの商売」3年上 「白いぼうし」4年上 「一つの花」4年上 「大造じいさんとガン」5年	「モチモチの木」3年下 「白いぼうし」4年下 「ごんぎつね」4年下 「百年後のふるさとを守る」5年	「ちいちゃんのかげおり」3年下 「モチモチの木」3年下 「ごんぎつね」4年下 「大造じいさんとガン」5年	「ちいちゃんのかげおり」3年下 「モチモチの木」3年下 「ごんぎつね」4年下 「わらぐつの中の神様」5年	「モチモチの木」3年下 「三つのお願い」4年下 「わらぐつの中の神様」5年
意識させるキーワード		登場人物のいる場所や細かな動き、場面の様子の変化	人物	場面の移り変わり	民話の組み立て、起承転結	登場人物、会話文と地の文	色やにおいにかかる言葉	「一つの花」	「つぐない」	「三つのお願い」	リズムや語感を生み出す表現
筋道を立てて説明する		その場面にふさわしい読み方を考え、説明することができる。	登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読み、考えたことを説明することができます。	場面の移り変わりや人物の行動や会話などから自分が考えたこと、その理由を説明できる。	民話らしい楽しい回しに気づき、どんな読み方をすればいいのかを考え、説明すること、その理由を説明できる。	場面ごとの登場人物の行動や会話などから自分が考えたこと、その理由を説明できる。	登場人物の気持ちや性格について読み取り、説明する。	特別な意味を込めている言葉について考えを、叙述をもとに説明する。	登場人物の気持ちの変化について読み取り、説明する。	感想を一文で表し、その感想を引き出した叙述と体験をもとに感想について説明する。	読後感がどこから来るのかを、言葉どうしのひびき合い、言葉と経験のひびきあいをもとに説明する。
単元まるごと活用		学習材 2年「ふきのとう」 場面の様子やその違いに注意し、場面の様子が伝わるように音読を工夫する。	学習材 2年「お手紙」 叙述をもとに登場人物の性格を想像しながら読む。				学習材 3年「きつつきの商売」 まわりの様子が伝わるように、登場人物の人柄や気持ちが伝わるように読み方を工夫する。				
その他		「うさぎのなぞなぞ屋」「きつねのまいもん屋」「つるばら村のパン屋さん」「ともだちや」の並行読書をする	「むぎわらぼうし」「ゆずちゃん」「おかあさんおげんきですか」「ふしぎなどう」の並行読書をする	「えんぴつびな」「おかあさんの木」「かわいそなぞう」の並行読書をする	「八郎」「花さき山」「三コ」「ふき」「半月村」「かみなりむすめ」の並行読書をする	「オズの魔法使い」「くもりガラスのむこうには」「なきむしおにごっこ」「菜緒のふしご物語」の並行読書をする	「紙びな」「まちんと」「せかい」「きつねの窓」「手ぶくろを買ひに」「キツネのホイッティ」「雪わたり」の並行読書をする			「雪窓」「白樺のテーブル」「ねこじやらしの野原」「花のにおう町」「花豆の煮えるまで」の並行読書をする	